

祝・完売！ ありがとうございます

CIESF の法人サポーターとしてご支援いただいている株式会社リアルマックス様(広島県広島市)は、運営しているゴルフ用品店アトミックゴルフにて、寄付機能付きゴルフボールを 2013 年より販売いたしました。売り上げの一部をカンボジアの教育支援にご寄付くださるという特別企画商品です。パッケージデザインに CIESF のロゴとカンボジアの小学生の写が入っており、さらにボールひとつひとつに CIESF のロゴをデザインしていただいております。「あなたの good shot がカンボジアの笑顔に変わる」というキャッチフレーズとともにウェブサイト上でも販売しており、ゴルフをされる方はもちろん、されない方もご友人へのプレゼントとしても購入されていたようです。

この度、完売しました！ リアルマックス様のゴルフボールを通じて、カンボジアの教育支援に多大なるご支援を頂戴いたしました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

CIESF では企業様とコラボレートした支援企画をこれからも進めていきたいと考えております。アイデアやご相談もお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。

支援企画コラボレーション商品



あなたの Good Shot が
カンボジアの笑顔に変わる

掲載ありがとうございます！



掲載いただいた 6 月号の記事



男子専科 Premium
4 月号表紙

昭和 25 年(1950 年)『スタイル』の臨時増刊号として産声をあげた『男子専科』が 20 年もの休刊を経て『男子専科 Premium』として復刊し、6 月号に、CIESF をご紹介いただきました。株式会社男子専科社長の山崎伸治氏は、CIESF のサポーターとして長年にわたってご支援くださっています。より多くの紳士の方々にご覧いただけると嬉しいです。ありがとうございました。

CIESF サポーター募集

- 法人サポーター 1口10万円(寄付から1年間)
- スペシャルサポーター 1口5万円(寄付から1年間)
- 個人サポーター 1口1万円(寄付から1年間)

三菱東京 UFJ 銀行 青山支店(店番 608)普通預金
口座番号 0021714
口座名 公益財団法人 CIESF 理事長大久保秀夫

※ゆうちょ銀行、楽天銀行、クレジットカードでのご寄付については、CIESF ホームページをご覧ください。継続的なご寄付に便利な金融機関引き落としははじめました。

CIESF の支援活動は寄付で成り立っています。皆さまのあたたかいお気持ちをお待ちしております。

編集後記 戦後 70 年の節目ということで、戦争を題材とした映画も数々公開されています。「野火」と「日本のいちばん長い日」を観ました。どちらも暑い時期の話。汗かきながら観たからこそその共感もありました。何よりも平和！ 日本は世界の平和見本になれる国だと強く思いました。(YM)

発行：公益財団法人 CIESF
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-7-5
URD 渋谷第 2 ビル 4F



CIESF NEWS LETTER

シーセフ ニュースレター

2015 August

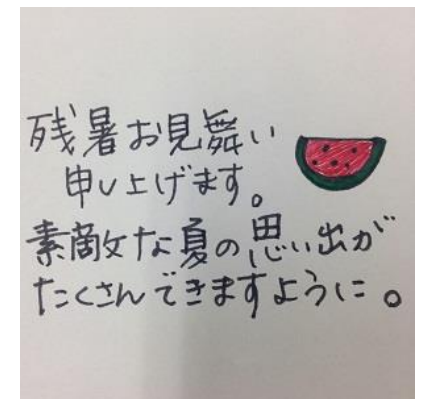
第 32 号

公益財団法人 CIESF(シーセフ)は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

残暑お見舞い申し上げます

日本列島のほとんどの地域で非常に暑い日々が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。「毎年こんなに暑かったでしょうかね」という声をよく耳にします。CIESF のオフィスでは、「これはカンボジアより東京の方が暑いかもしれませんね」と話したりしております。さて、最近はお便りといえばメールが主流になっていますが、この季節は支援者の方などから事務所にも暑中お見舞いがたまに届きます。きれいに並んだ電子メールのフォントに見慣れてしまっているため、手書きのハガキなどを見るとホッとしたりすることがあります。CIESF からでもできればみなさまへ

手書きの暑中お見舞いなどを出せたらいいのですが、今月はこのニュースレターの冒頭にて、残暑お見舞いのご挨拶とさせていただきます。まだまだ暑い日が続きますが、くれぐれご自愛くださいませ。(事務局:増子)



【講演いたします】

CIESF の教育支援活動は、数値で表すことが難しく、またすぐに結果が目に見えるものではない、地道な活動です。そこで、ひとりでも多くの方に知っていただけるよう、CIESF では活動をお伝えする講演活動を行っています。話者は、CIESF 創設メンバーであり、理事・事務局長の戸田陽子です。団体設立から日本の事務局運営を行ってきた女性の視点で、カンボジアをはじめとした途上国にとって、今必要な教育支援についてお話いたします。少人数からイベントでのコンテンツとしてなど、ご相談に応じますので、ご興味のある方はお問い合わせください。



ご寄付の金融機関自動引き落としははじめました

「少ない金額だけど、毎月寄付したい」「サポーターを続けたいけれど、更新を忘れてしまう」

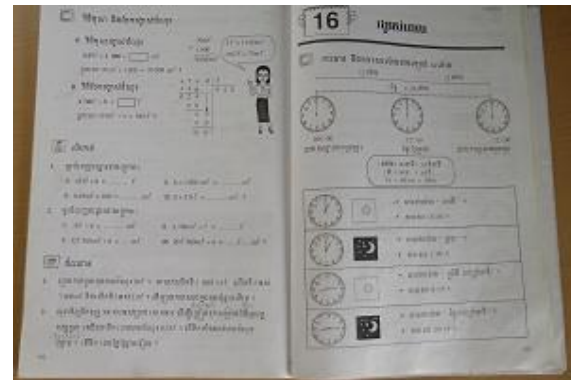
このような声にお応えしたく、この度、金融機関による自動引き落としをはじめました。CIESF の活動は、法人や個人

の方々のおかげで成り立っています。少額でも、無理のないやり方で継続してご支援いただけることが、私たちにとって大きな支えとなります。たとえば、月に 1 度だけ、ランチの夕食を手作りのお弁当に変更する、週に 1 度だけコーヒーを買うのをやめてみるなどして、浮いた 1000 円でカンボジアの教育を支援するといった、気楽なサポートも可能です。お手続きについては、ホームページをご覧ください。あたたかいご支援をお待ちしております。



カンボジアの教科書事情 ⑦

「国境なき教師団」の元教育アドバイザーである筧八郎(かけひはちろう)先生がまとめた、「カンボジアの教科書事情」についてご紹介します。カンボジアでは無償なはずの教科書が児童や生徒に行き届いていないという問題のほかに、内容にも問題があるようです。ニュースレター31号の続きです。



【算数の教科書の問題点】

算数の教科書を通訳といっしょに翻訳しながら内容を検討していきました。明らかな誤植も結構ありますが、この点はすぐ気づくことですのでそれほど問題ではありません。正確な図表でないところもいくつかあります。例えば、6時半を示す図の短針も長針も、ともに数字の6の位置に描いてあります(小2)。

正三角形の図が二等辺三角形になっているところもあります。面積や体積を求めるのに、必要な数値が与えられていないために解けない(予測して解く)問題もあります。

6年生になると結構難しく、不適切な問題やまったく解けない問題も出てきます。現場の先生たちはどうしているのか気になりますが、残念ながら尋ねる機会を逸しました。教員養成校のある数学担当の先生は、現場の先生から相談を持ちかけられたと教えてくれました。尋ねる先生はまだいいのですが、そういう部分は飛ばして教えないとか、誤ったままで教えているとかなると、それこそ不適切なことですね。

その一方で、かけ算や分数などでクメール語の特徴ゆえの問題もあります。カンボジアの人たちが長い間ある方法で教えられてきた背景もあります。一方的におかしいと判断せずに、担当教官や通訳なども相談しつつ、どう改善していったらよいか考えるとよいでしょう。(次号に続く)

特集 「国境なき教師団」スバイリエン州における教員養成支援 ①

CIESF では、2009 年より「国境なき教師団」として、カンボジアの教員養成校に理数科の教育アドバイザーを派遣しています。2015 年 7 月末時点で、延べ 22 名の教師を派遣してきました。全員が、定年退職後「自分の教師としての経験を活かしてカンボジアの教師育成に貢献したい」というベテランのボランティアです。教員養成校の教官をカウンターパートに、教官のレベルアップによる教員養成の、そして教育全体のレベルアップを目指しています。



スバイリエン州小学校教員養成校の校門



これまでは、プノンペン市小学校教員養成校・中学校教員養成校、プレイベン州小学校教員養成校・中学校教員養成校の計 4 校へ教育アドバイザーを派遣していましたが、2014 年 10 月より 5 校目として、新たにスバイリエン州小学校教員養成校への派遣をスタートしました。スバイリエン州はベトナムに隣接した州で、日系企業なども多く進出している経済特区が州内にあります。カンボジアが発展していくためには、重要な役割を果たす州でありながら、日系企業で働く人材は、十分な教育機会がないまま就職してしまい、人材の基礎学力や能力に大きな課題を抱えています。

スバイリエン州小学校教員養成校は、今までに教育の中身に関する支援をほとんど受けたことがありません。この学校の教官のレベルアップは、CIESF の活動にかかっているといっても過言ではありません。支援スタートに際して、スバイリエン州教育局の局長からは、「人材育成や教育はカンボジアの発展にとって欠かすことのできない分野であるが、残念ながら、なかなか成果をあげることができていない。CIESF のように教育の中身を支援してくれる団体をずっと待っていた。スバイリエン州教育局としても、できるかぎり CIESF のボランティアをサポートしていきたい。」という言葉をいただきました。

2名の教育アドバイザーが活動しています

州からの期待を背負って、CIESF から理科と算数それぞれ 1 名、計 2 名の教育アドバイザーが赴任し、教官とともに活動しています。算数を指導している山田史子(やまだふみこ)先生は、支援がスタートした 2014 年 10 月からカンボジア入り、スバイリエン州での活動の基礎を築いています。理科を指導している齋藤悦子(さいとうえつこ)先生は、2015 年 3 月から、実験道具の数も不足している中、手作り教材などを活用し、体験して気づきを得る授業の指導を行っています。2 名の教育アドバイザーの活動内容や生活の様子については、次号でご紹介させていただきたいと思います。



山田先生の算数指導「電卓の使い方」の授業

ご支援ありがとうございます(6~7月)

CIESF の活動は、多くのサポーターの方々に支えられています。法人サポーターの皆さま(プラチナ・ゴールド・シルバー・ブロンズサポーター他)・個人サポーターの皆さま(スペシャル・個人サポーター・「国境なき教師団」応援団他)には、心より感謝申し上げます。6~7 月にご寄付を頂戴した方々を下記にご紹介させていただきます(6/1~7/31)。



【6月】

■法人サポーター(プラチナ):株式会社ジャスト/株式会社フォーバル ■法人サポーター(ゴールド):中央地所株式会社/株式会社アックスヤマザキ/株式会社グランデ/株式会社キノカワ/株式会社あなたの幸せが私の幸せ/株式会社ブルースブラッシュ/扇町運送株式会社 ■法人サポーター(シルバー):有限会社アドバンスカンパニー/株式会社 KAISEI エンジニアリング/株式会社島本食品/ 夢成株式会社 ■法人サポーター(ブロンズ):ARTS&WEB 株式会社/AUMI 株式会社/サナダ精工株式会社/株式会社 Kurokawa/株式会社 Willing hands/株式会社カクノ/株式会社ケイズハウス/株式会社いいた三味/株式会社西日本キャロット/合同会社 T コーポレーション/黒沢燃料株式会社/有限会社イマトクメディック/有限会社プラスカム/株式会社 SBS/株式会社愛媛企画/株式会社世真/有限会社アップライジング ■法人寄付:東京武蔵国分寺ロータリークラブ ■支援企画寄付:スマイルキューブ株式会社/リネットジャングル株式会社/ソフトバンクモバイル株式会社 ■スペシャルサポーター:河野孝/松岡和久 ■個人サポーター:宮崎義之 ■「国境なき教師団」応援団:藤井泰一/大久保博和

【7月】

■法人サポーター(ゴールド):株式会社キュリオステーション ■法人サポーター(シルバー):タヒボ e 株式会社/有限会社酒井工務店 ■法人サポーター(ブロンズ):株式会社ユニプラン六本建築事務所/株式会社那須帆布/株式会社 M's-A/株式会社カーネル/株式会社 LIFE/株式会社太陽設計/株式会社那須帆布 ■支援企画寄付:株式会社ポールスター/スマイルキューブ株式会社/リネットジャングル株式会社/ソフトバンクモバイル株式会社 ■スペシャルサポーター:河野孝/森拓也 ■個人サポーター:宮野光男・祥子/金綱幸重

※以上敬称略